

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード		132502					
事務事業名		准看護高等専修学校運営補助事業					
担当部局・課		健康福祉部 健康福祉課					
事業内容		准看護高等専修学校を運営する伊丹市医師会に対する運営費補助					
事業開始(予定)年度		昭和47年度					
事業終了(予定)年度		—					
この事業の上位施策	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現					
	項目	きめ細かな地域福祉の推進					
	施策	地域医療体制の整備促進と救急医療体制の円滑化					
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。						
事業の目的	伊丹市医師会が運営する准看護高等専修学校の卒業生が市内医療機関の看護師不足による医療体制の脆弱化を防ぎ、安定した医療の供給の一翼をになっている。このため、准看護学校の運営経費の一部を補助し、安定した学校運営に資することにより医療従事職員の輩出を支援し、市民の医療不安を解消するとともに、医療ニーズに的確に対応する医療体制の確立に寄与する。		予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)				
		(款) 衛生費	(事項) 保健衛生事業補助金等				
		(項) 保健衛生費					
		(目) 保健衛生総務費					
事業費等の概算	平成17年度(決算)		平成18年度(予算)				
	事業費	5,500千円	財源内訳				
			国・県補助金等	—			
			市債	—			
			その他(使用料等)	—			
	一般財源(市税等)		5,500千円				
投入人員	0.05人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)					
人件費	428千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。					
経費合計	5,928千円		経費合計	5,928千円			
活動指標	指標名(単位)	生徒数(人)		計画と実績	年度		
	意味・算式等	1学年定員50名 修業年限2年			区分	H17年度	H18年度
					計画値	100	100
				実績値	96		

評価結果	B
	上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。